



林業作業士 竹田 義之 啓一の妻 よし子 山中 啓一 寺崎 昌広 山中 三郎 今村 純二



市役所職員 ミキ 東 志野香 三郎の孫 靖夫 八木 浩司 日系人 ミツコ 矢川 千尋

木村 快

日本は自然豊かな国でした 日本は自然豊かな国でした 人間が深くかわりながら育ててきた自然です けれど今では山も川も荒れ果て 自然を支える水も失われつつあります 彼は自然と共に生きてきた時代を知っています でも、それは貧しい時代だと人は言いますが いいえ、豊かな自然が心を支えた時代でした 彼はすっかり年老いてしまったけれど 豊かな水の心を探そうと決意します 人は時代から捨てられた夢だと笑うけれど 時代が見捨てた森の中には きっと水の心が生きています 水を探し、小さな畑を耕す夢を見ながら 彼は精一杯生きるのです

約束の水

◆T市の観光課にミツコと名乗る日系ブラジル人の若い女性が「谷山村へ行きたい」と訪ねてくる。旧谷山村は山間の僻地で今は無人地区である。戦前に谷山村からブラジルに移住したミツコの祖母が、故郷の村の「約束の水」という湧き水を恋しながら息をひきとつたと語り、その泉を一目見たいと言う。そこで谷山生まれの広報課職員ミキは幼なじみの靖夫に声をかけ、ミツコを谷山地区に案内することになる。

◆山奥の谷山地区へ入ってみると、なぜか街で暮らしているはずの靖夫の祖父、山中三郎が畑を耕していた。三郎は、長い間寝たきりの妻チヨを介護していたが、チヨが亡くなると時折一人でどこかへ出かけるようになり、周囲を心配させていた。

三郎は昔住んだ山の家を手直しし、かつての集落の跡に案内板を立てながら、昔の記憶を呼び戻そうと努力していたのである。

三郎は「約束の水」のありかを尋ねられるが、どうしても思い出せない。だが、この村を終生恋しがったというミツコの祖母の話聞き、なんとかしてその泉を探してやりたいと思う。

◆そこへ靖夫の父啓一と母のよし子、林業作業士の竹田が三郎を連れ戻しにやってくる。よし子は出来ることなら三郎の思うようにさせてやりたい。山で林業に従事する竹田も、自然から遠ざけて年寄りを保護することには後ろめたさを感じている。だからといって放置することもならず、頭を抱える。

しかし、年老いた父親を無人地区に放置する親不孝息子と噂された啓一は、なんとしても親父を連れて帰ると思っている。

三郎は啓一の説得を無視し、ミツコを連れて泉探しに出かけようとする。それを押しとどめようとする啓一と争ううちに、三郎ははずみでひっくり返ってしまう。「もう駄目だ!……」

やっと起き直った三郎の目には涙がにじんでいた。

◆そのときミツコは「おじいさんと出会っただけで、おばあちゃんも喜んでいてと思います」と礼を述べ、「これはおばあちゃんの形見です」と青い小石を差し出した。その青い小石を受け取った瞬間、三郎はその小石が小学校の近くにあって「約束の水」の水受け場のものであることを思い出す。ブラジルへ行く同級生の女の子のために、その泉の前でお別れの会をした情景がよみがえってくる。在りし日の村の暮らしを語る三郎の顔は輝いていた。ついに啓一も「父さん、その泉を探そう」と言い出す。一同は三郎の記憶を辿って泉を探し始める。

NANAYŌ AUTO

新車・中古車・車検・钣金・修理
自動車のことならナナヨウオート
競技場通り 第二小学校そば
TEL 042-384-5555

つくばグループは、皆様の安心と
やすらぎを応援します。

霊園・墓石・リフォームのご用命は
つくば家石材(株) ☎042-381-1150

タクシー・ハイヤーのご用命は
つくば観光交通(株) ☎042-388-0039

観光・研修旅行等バスのご用命は
ニューつくば観光(有) ☎042-388-1100

病院の入退院等送迎のことなら
つくば移動ケアサポート ☎042-360-2266

地元小金井を基盤に世界へ翔く

株式会社 精工

〒184-8595 東京都小金井市緑町5-6-35

住インテリア事業部 ファインコンポーネッツ事業部

住宅設備機能部品で 自動車用保安部品で
生活を豊かにする 安全に貢献する

TEL: 042-384-0330 TEL: 042-381-4151

私たちがNPO現代座を応援しています

株式会社 スタート

工務店 看板

有限会社 I.K.O. プランニング

不動産

代表取締役 今井啓一郎

〒184-0011 東京都小金井市東町4-38-26 トーケンプラザ3F
TEL 042(388)6222 FAX 042(388)6268